



シルバーとなみ

ふれあひ

第30号 平成25年4月10日発行

題字／燕昇司 勇夫



撮影／横山 宗平(中野地区)

2/26~
㊦

市内全地区で交流会を開催

年に一度、皆さんから直接意見や要望を聞く、互助会主催の地区別会員交流会が二月二十六日から約二週間にわたり二十一地区で開催されました。

例年ならば雪で足場の悪い日が多い一月下旬からの開催でしたが、今年度は一カ月遅いスタートで、ぽかぽか春を思わせる陽気の日もみられ、多くの方が参加し、皆さんからは、さまざまな意見・提案が飛び出し、活発な交流会となりました。

事務局からは、事業実績・事故発生状況(シルバー保険関係)を報告しました。特に国からの大幅な補助金の削減などにより経営の悪化が進み、平成二十三年度はシルバー設立以来初めてのマイナス決算となり、その経営の健全化を図るため、『第二次財政中長期計画』を策定し、事務局として今後も人員の削減や事務費率の引き上げを実施していくこと、「自主・自立」の理念のもと、会員主導の事業運営を目指していくことを説明しました。



シルバーの現状を知る良い機会です。

皆さんからの主な意見・要望

Q 月十日週二十時間の就業がふさわしいとありましたがそれ以上働くことができないのでしょうか。

A 国から、シルバー会員の就業は月十日、週二十時間がふさわしいと指導を受けており、法律でも定められております。

センターでも、会員の皆さんにはローテーションでの就業をお願いしておりますが、会員の方が不足し思うように依頼を受けた仕事ができないう状況にあります。会員の増加にもご協力ください。

Q 技能講習会は、パンフレットなどを作成して、日頃から対象の職種に従事している会員のみではなく、他の会員もしくは一般市民の方にも案内すれば、後継する会員も増えるのではないのでしょうか。

A 例年、総会の資料には大まかな日程を記載してあるのですが、会員の方には、ホームページなり事務局だよりなどで具体的な日程をあらかじめご案内したいと思えます。

Q 事業所の契約額が減少するなか、会員の募集もさることながら、受注を増やす努力はしているのでしょうか。

A 平成二十五年度は事業強化推進事業として、就業開拓員を中心に、事業所はもちろん、家庭や地方公共団体を訪問し、就業機会の掘り起しを行い、発注者向けのパンフレットを作成し、事業をPRする事などを計画しております。

Q 軽度生活支援サービスで高齢者の御宅へ仕事へ行っていますが、「医者に車で送ってほしい」「車で買い物へ連れて行ってほしい」などと要望されます。そのような依頼を受けてもよいのですか。

A 原則、会員の方の『自家用車』を用いての仕事の遂行はしないでください。『公共交通機関』を利用して『付き添い』ということであれば可能です。

どうしてもご理解いただけない・お断りできないようでしたら、事務局までご連絡ください。担当者のほうからお客様へ説明させていただきます。

Q シルバー人材センターの会員は自動的に更新されるのですか。

A 特別な事情・意思表示がない限り、会費を納入いただければ更新されます。会費の納入は毎年、四月下旬から五月上旬に各地区の地区連絡委員が徴収しに伺います。

Q 『シルバー便利屋さん』の事業は現在もやっているのですか。

A はい。高齢者のみの世帯も増加しており、受注は増えております。電球の交換・ゴミ出しなど些細なことでもお引き受けしております。

Q 定年はないのでしょうか。

A 健康で働く意欲のある限り、生涯現役で就業していただけますが、センターとしてもお客様から苦情などのご連絡があった場合は、就業を中止していただく場合もあります。



いろいろな立場から、会員の“生”の声が飛び出します。

地区連絡委員交代のお知らせ

会員の皆さんと、センターとのコミュニケーションを円滑にし、シルバー事業の発展に貢献していただいている「地区連絡委員」の方々が、四月から交代となりました。前委員の皆様二年間ありがとうございました。また、新しい委員の皆さんよろしくお願ひします。

センターの経営健全化を目指し 第二次財政中長期計画を策定



「説明に聞き入る皆さん」

公益社団法人砺波市シルバー人材センターは、昭和五十六年十月に富山県内三番目の高齢者生きがい事業団としてスタートし、平成二十三年で三十周年を迎え、この間幾多の変遷を得て、着実な事業発展をしてきました。シルバー人材センター事業を取り巻く環境は、行財政改革に伴う補助金の削減、景気の低迷、継続雇用の普及等々、大変厳しい状況となっております。

平成十八年度に財政中長期計画を策定し自助財源の確保・経費削減に努めてまいりました。しかしながら、国及び地方公共団体のより大幅な補助金削減による経営の悪化は、シルバー人材センター存続に関わる緊急の課題であります。今後のセンター運営をどのように進めていくのか、改めて財政中期計画策定委員会を設け協議をしてきました。

委員会において協議がまとまり、平成二十五年三月十三日の理事会において第二次財政中長期計画(案)が承認されました。尚、この内容については冊子に編集作成し配布いたします。

『計画の方針』

新規の補助事業、会員の拡充、就業機会の開拓と確保に積極的に取り組み、シルバー事業運営の自主化・効率化を図り、地域社会の日常生活に密着し、公益性の認定を受けている法人としてより地域に愛される、親しまれる、貢献できるセンターを目指す。

- ①会員の拡充と自主運営、技術の向上と育成
- ②就業機会の開拓と確保
- ③運営経費の削減と公益法人としての役割

『計画の期間』

中期目標……平成二十九年年度まで
長期目標……平成三十年以降

『計画の具体策』

- 1、組織体制
 - ①平成二十五年度より事業管理費を前年比五%の経費削減とする。
 - ②平成二十六年度から庄川支所を廃止し砺波本所一所体制とする。
 - ③業務サービスの低下に繋がらないよう、会員の自主自立運営を推進する。
- 2、事務費率
 - 平成二十六年度より事務費率を七%から十%とする。
- 3、会員の確保と資質の向上
 - ①イベントやホームページを通じシルバー事業の啓蒙を図る。
 - ②技能・技術・接遇等の講習会を実施し会員の資質の向上を図り、発注者のニーズに応える。
- 4、契約件数の増加対策
 - 理事等による事業所訪問に加え、会員自ら一般家庭等における就業開拓を行う。
- 5、事務局体制
 - 平成二十六年度に庄川支所を廃止し、同年より職員一名減とする。
- 6、市補助金
 - 市補助金の増額を要請する。

ハウスクリーニング講習会開催

二月二〇日(水)に『ハウスクリーニング講習会』が砺波市シルバーワークプラザで開催され、普段から施設や一般家庭で清掃作業をしている会員二十六名が参加しました。

研修会は、新星株式会社の土岐主幹・立浪さん・棚田さんの三名にご指導いただきました。

今回の講習内容は、『カーペット・ガラスクリーニングの知識と実技』についてということと、まずは講師の方に講義と実演をしていただきました。

実習では、カーペット・ソファの清掃と、家庭でも使用する機会がある、ガラススクイジーによる清掃を、指導を受けながら行いました。

受講後に実施したアンケートでは、皆さんから『良かった』との評価を受け、特に、

- 実際に清掃業をしている方の仕事の仕方を見せてもらえて良かった。
- 今まで自己流で掃除していたが、知識をマスターできて良かった。
- 清掃器具の選び方、正しい道具の使い方が学べて良かった。
- 感想が聞かれました。



プロの技術に皆さん釘づけになりました

来年度も、様々な技能・安全講習会を開催予定です。皆さんの様々な要望・ご意見もぜひお聞かせください。

シルバー安全ニュース

今年度も安全・適正就業推進委員会では『事故全体の対前年比二十%削減』を目指し、毎月一回安全パトロールを実施し、就業中の会員の皆さんに安全就業を呼びかけてまいります。

平成二十四年度においては、傷害事故が二十日以上以上の入院をした例二件を含むなど対前年度比で二割増加。賠償事故は、一割減少はしましたが、その中に占める『草刈中の飛び石事故』が四件と前年度と変わらぬ結果となつてしまいました。

そこで、新たな対策として今年度からは、特に事故の多い剪定・除草作業において、就業前に実施する『作業前安全点検表』を配布し、ミーティングを徹底することにいたしました。

年度当初より『事故全体の対前年比二十%削減』を目指し、現在まで取組んできましたが、会員の皆さんには働くことに誇りを持ち、安全対策にも気を配っていただきたいと思ひます。安全パトロールは継続して行いますので、ご協力お願いいたします。

交通安全体験講習会を開催

一月十八日(金)、砺波自動車学校の協力を得て会員・職員合わせて十九名が、体験型の交通安全講習会を開催しました。この講習会は、ご自身の運転を見直すことにより、交通安全意識の高揚を図り、悲惨な交通事故を一件でも減少させることを目的としています。

《講義では》

- 県内の交通死亡事故に占める高齢者の割合が四割と多い。
 - シートベルトの非着用が死亡事故の原因となった割合が増加している。
 - 死亡事故が発生した時間帯が早朝や夕暮れ時などの薄暗いときが一番多い。
- など指導員の方からお話をしていただきました。



個別指導にハンドルを握る手にも力がある



講義終了後の実技では、班ごとに分かれ指導員の方と車に同乗し実際にコースを回り、運転後には個別のアドバイスを受けました。

この講習会で得たことを活かし、一人ひとりが交通安全を意識し事故防止を心がけていただきたいと思います。

チェンソー技能刈払機技術講習会開催

会員の技術向上・安全就業を目的として、二月二十一日(木)にチェンソー講習会が、三月十五日(金)には、草刈講習会がシルバーワークプラザにて開催されました。今年度からの『安全就業警告方式』の導入にともないチェンソー・刈払機を用い就業する方には、講習会は必修となりました。

講師は両日ともに、富山県西部森林組合の森田砺波支所長にご教授頂きました。

午前の部は正しい使用方法・作業の安全ポイント・災害事例・機具の知識と取扱いについて学びました。午後の部では各々の機械を使用し実技を行いました。

昨年度は、刈払機による飛石の事故で、重篤事故になりかねないような傷害事故事例もあり、講習会で学んだことを今後の就業に生かしていただき、安全に作業していただくことをお願いしました。



講師先生の実演に真剣のまなざし

配分金

支払い日案内

- 五月十五日(水)
- 六月十七日(月)
- 七月十六日(火)
- 八月十五日(木)
- 九月十七日(火)
- 十月十五日(火)

職員異動のお知らせ

《新任》

事務局長 竹正 哲郎

《退職》

事務局長 五嶋 親秀

(三月三十一日付)

皆さま、本年度も新しい事務局をどうぞよろしくお願ひ致します。

事務局一同

私の思い

平成二十三年三月に市役所を定年退職し、ご縁があつてシルバー人材センターにお世話になることになりました。

市役所での最後の勤務は総合病院で、多くの高齢者の皆さんが診察に來られており、医療費の増大を肌で感じていました。しかしながら、シルバー人材センターにお世話いただいていたからは高齢者の皆さんが、こんなにも元気に楽しく健康で仕事をしておられるのだろうか、そのギャップに驚いたところでもあります。体を動かすことが脳も刺激し、体力もつき、物忘れのスピードも遅くなり、健康を維持できることを実感いたしました。

しかしながら、元気な方であっても安全な作業に十分気を付けていただきたいと思ひます。シルバーに來て間もないころ、重篤事故に遭われた家庭へお見舞いに行つたとき、ご家族のつらい心中をお聞きし、本人はもちろん家族の方々を一瞬にして不幸の底に落とすこのような事故は絶対起こしてはいけませんと思ひました。今後も多くの仕事を会員の皆さんが請け負われると思ひますが、安全作業を何よりも優先して仕事を行つていただきたいと思います。

少子高齢化が急激に進展する社会状況の中で、高齢者が安心して暮らせる社会を実現するには、シルバー人材センターは欠くことのできない団体であり、多くのシルバー人材センターが存続の危機にさらされていることを国はもっと理解し、支援を行うべきものと感ずる今日この頃であります。(五嶋)